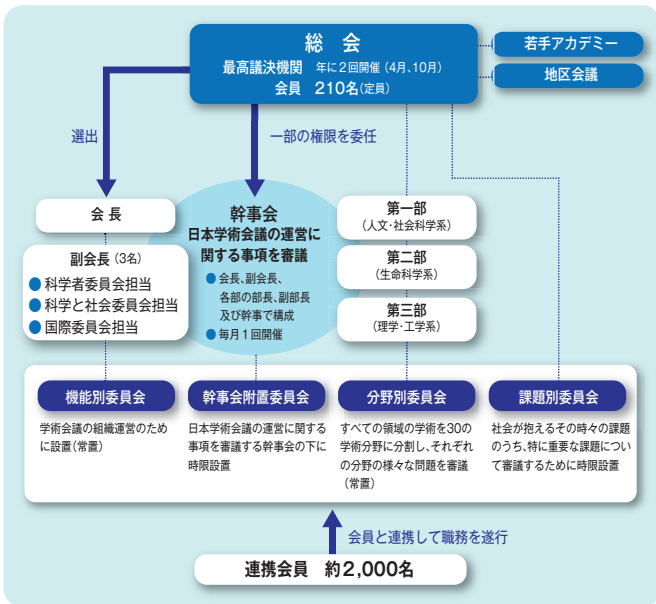


日本学術会議の構成



SCIENCE
COUNCIL
OF
JAPAN



日本学術会議

第26期日本学術会議会長



日本学術会議会長
光石 衛

副会長



三枝 信子
(科学者委員会担当)



磯 博康
(科学と社会委員会担当)



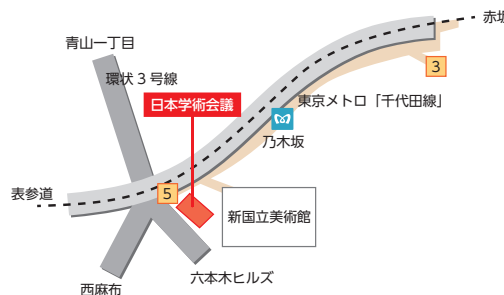
日比谷 潤子
(国際委員会担当)

日本学術会議 Science Council of Japan

日本学術会議事務局 〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
☎03-3403-3793 (代表)

▶ 日本学術会議の最新の情報、様々な活動については、ホームページや広報誌等を通じてお知らせしています。

日本学術会議ホームページ <https://www.scj.go.jp>



アクセス 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5番出口から徒歩1分

日本学術会議パンフレット



日本学術会議とは

日本学術会議は、全国約 87 万人の科学者の代表として、優れた研究又は業績がある科学者の中から選出された、定員 210 名の会員と約 2,000 名の連携会員により組織されています。

人文・社会科学系、生命科学系、理学・工学系など多岐にわたる専門領域の科学者で構成される利点を活かし、普遍的な観点と俯瞰的かつ複眼的な視点から活動しています。



日本学術会議の最新の情報、様々な活動はホームページやSNS等を通じてお知らせしています。



日本学術会議ホームページ <https://www.scj.go.jp>



公式 X



公式 YouTube チャンネル

日本学術会議のしごと

政府・社会に対して、日本の科学者の意見を直接提言

日本学術会議は、ボトムアップで中立的な立場から、政府や社会に対して、科学者を代表して専門的かつ信頼性のある見解の提示や助言をする活動を行っています。



市民社会との対話を通して
未来の学術をともに切りひらく

学術フォーラムやシンポジウム等を開催し、科学者と社会との対話を通して、科学への理解を深めるとともに、市民と意見交換をする活動を積極的に行っています。



地域社会での科学理解や、学術研究団体の機能強化に貢献

地方での活動として、地域の科学者との懇談や、地域の住民を対象とするシンポジウムを開催し、地域社会の学術の振興にも寄与しています。平成 30 年度からは、さらに地方における取組の強化を図るため、「地方学術会議」を開催しています。



日本を代表する科学アカデミーとして国際学術交流を推進

日本学術会議は、国際社会に対する日本を代表するアカデミーとして、各国アカデミーとの交流や、国際シンポジウムの開催など様々な国際活動を行い、信頼される国際的なパートナーとしての役割を果たしています。また、重要な国際会議の日本での開催に向けた取組を行っています。

4